

編集後記

●『教師の心のスイッチ』（菅野純、ほんの森出版）という本の中に、「子どもの問題の背後にある『そうせざるを得ない何か』を知れば知るほど、子どもへの認識がより受容的な方向に変わっていく——これが教師という職業に就いた人の大きな特徴だと思います」という一節があります。特集1を読みながら、この一節を思い出しました。怒っている子にかかわる際も、「そうせざるを得ない何か」に意識が行くことがポイントなのではないでしょうか。

●ときどき「入試は団体戦」という言葉を聞きます。自分が受験生だったときはピンとこない言葉でしたが、特集2を読んでみると、先生たちがそのような気持ちでいろいろ工夫してくれていたのだと思い当たりました。プレッシャーがかかりすぎた子に対しては、個人へのかかわりに加え、学級内の雰囲気づくりが有効なようです。（こ）

次号のお知らせ

●特集1 「すぐあきらめる子」に
どうかかわるか

●「めんどくさい」「そんなの絶対ムリ!」「どうせできっこないし…」「オレってバカだから」などの声を聞くことがあります。そのような「すぐあきらめる子」にどうかかわっていったらよいかを考えます。

●特集2 多忙化の中で
燃え尽きないための工夫

●教師の多忙化が、なかなか解消されません。政策上の対策が必要なのはもちろんですが、今回の特集では、燃え尽きたり健康を損ねたりしないための個人的な工夫を紹介していきます。



ほんの森掲示板



学校教育相談

2022年 令和4年 11月号

定価 820円（本体 745円）

2022年11月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>


●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

・以前、菱田準子先生が本誌で連載された「ポジティブ心理学で学校づくり—幸せづくりの処方箋・折れない心の処方箋」は大変好評でした。その連載を1冊にまとめる編集作業が進んでいます。予測困難な時代を生きる子どもたちが、折れない心を育て、幸福に生きていく力をつける授業が、この1冊ですぐに始められる構成に考えています。書名は『すぐ始められる！ワークシートでポジティブ心理学&レジリエンス教育—幸せづくり・折れない心 24の処方箋』とすこ〜く長いものに決定。次号では、もう少し詳しく紹介できると思います。

●本誌の2022年4月号からの1年間の誌代は12,340円（税込 増刊号2冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円（3冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている
※詳しくは奥付を！ 資料のファイル（ワード・パワポ・PDFなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索